

令和9年12月

オープン予定  
まもなく着工!

# 新しい琵琶湖文化館に関する 県民フォーラムⅣ

近江の文化財でひろげる  
滋賀の魅力

入場無料  
会場/200名  
配信/400名  
事前予約制

令和7年(2025)

2月11日 火・祝

14:00~15:45 13:15開場  
16:30閉場

コラボしが21 3階大会議室



オンライン配信

zoomウェビナー

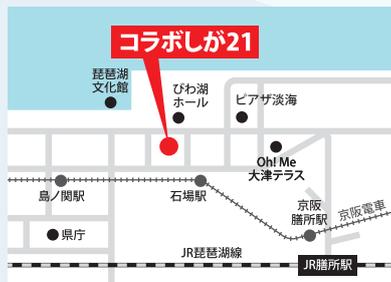
会場限定♪

特設コーナーもあります!...

会場コラボしが21 アクセス

- JR琵琶湖線(JR東海道本線)「大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分
- JR琵琶湖線(JR東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約5分

※会場には駐車場がございません。近隣の駐車場(有料)をご利用になるか、公共交通機関でお越しください。



申込  
方法

しがネット受付サービスよりお申し込みください(1月15日9:00より受付、先着順)。インターネットを使用できない方は、主催者へお問い合わせください。

申込はこちら▶

新文化館 誕生 検索



(会場)



(配信)

主催・問い合わせ先

滋賀県文化財保護課 電話:077-528-4681(平日9:00~17:00)  
FAX:077-528-4833/メール:bunkatsu@pref.shiga.lg.jp

滋賀県では新しい琵琶湖文化館の整備内容等を定めた基本計画を令和3年3月に策定し、大津市浜大津において、令和9年12月の開館を目指しています。まもなく着工を迎える新しい文化館は、県と民間事業者がともにつかっていくという、全国でも先進的な手法で整備運営をします。

この新しい文化館への理解や関心を深める機会として、令和3年度より県民フォーラムを実施しています。今年度の県民フォーラムは、新しい文化館の整備を行う特別目的会社（SPC）「株式会社琵琶湖C&S」と滋賀県が、建築や新しい機能など、より具体的にいった姿についてご紹介し、ゲストスピーカーと滋賀の魅力や文化館の将来を語ります。



## ゲストスピーカー



**木津 勝**  
きつ まさる  
大津市歴史博物館副館長(学芸員)

滋賀県大津市出身。佛教大学大学院修了。専門は日本民俗学で、博物館では近代以降の生活・交通・観光、古写真・絵葉書などを研究。企画展では「大津百町大写真展」、「道楽絵はがき」、「百人一首かるたの世界」、「江若鉄道の思い出」などを担当。

## 登壇者



**平島 亘**  
ひらしま わたる  
事業統括 株式会社丹青社



**津田 真**  
つだ まこと  
展示企画・設計チームリーダー  
株式会社丹青社



**砂川 亜里沙**  
すながわ ありさ  
開催準備・文化観光等チームリーダー  
株式会社丹青社



**戸川 勝之**  
とがわかつゆき  
建築設計チームリーダー  
株式会社安井建築設計事務所



**雲出 泰弘**  
くもで やすひろ  
文化財保護課 参事



**和澄 浩介**  
わすみ こうすけ  
琵琶湖文化館 主任学芸員



**田澤 梓**  
たざわ あすぞ  
琵琶湖文化館 主任学芸員

## プログラム

- 第1部 新しい琵琶湖文化館 事業の紹介
- 第2部 トークセッション 「近江の文化財でひろげる滋賀の魅力」

## 会場特設コーナー

会場内に設置します。フォーラム開催時間の前後にお楽しみください。

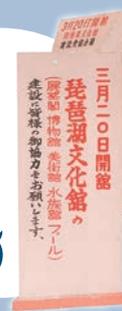


新しい琵琶湖文化館  
フォトスポット

※イメージです

現在の文化館  
建設のため設置  
された募金箱の展示

実際に募金して  
いただくことが  
できます



他にも  
滋賀応援寄付  
ご案内など

## 琵琶湖文化館について

- 昭和36年(1961年)開館。多くの個人、団体から寄付をいただくなど、県民や県にゆかりのある方の篤い志により建設  
(※建設費1億5,000万円のうち、9,000万円が寄付)
- 国宝2件、重要文化財54件をはじめとする貴重な収藏品
- 平成20年(2008年)から休館中。休館後も、収藏品の保管、他館での展覧会活動、文化財講座、情報発信等の活動を継続
- 令和3年3月「(仮称)新・琵琶湖文化館基本計画」策定
- 令和5年7月に、整備事業を実施する民間事業者が決定
- 大津市浜大津において、令和9年(2027年)12月の開館を目指す

令和6年10月には、建設予定地でイベントを実施。たくさんの方にお越しいただきました!



X(旧Twitter)はじめました! @biwakobunkakan ▶



### 多くの人の思いが込められた文化館



開館時から親しまれる“トンボ”



開館イベントに集まる人々

### 休館中の活動



地域連携企画展



文化財講座